

円形の祭壇の前で説明を受ける来場者（23日、仙台市宮城野区で）



法事を会議室で 新スタイル提案

仙台で模擬式

塩釜市の葬儀会社「ごんきや」は、貸会議室大手「ティーケーピー」（TKP）と提携し、会議室で行う法事を新たに展開する。23日には仙台市宮城野区のホテルで模擬法事を行い、来場者の関心を集めていた。

ごんきやは昨年5月から、宗教や宗派にとらわれずに法事を会費制で行う「感謝のつどい」を企画し、葬祭場で行っている。遺族から「故人らしく自由なスタイルで感謝を伝えたい」

「気軽に参加できる式をしたい」などの要望があり、会議室で行う形式を考案した。

模擬法事は高校教師だった70代男性の三回忌との想定で実施。ビデオレターが流れたり、ビュッフェ形式の食事が提供されたりして、明るい雰囲気で行われた。

同社の佐藤知樹社長は「法事や法要は故人への感謝を伝える場所。その本質を守りながら、徐々に取り組みを広げていきたい」と話した。

仙台市青葉区、自営業浪岡一子さん（77）は「色々な見送り方があるんだと勉強になった」と興味を示していた。